

CS通信

訓子府町 CS・学校運営協議会

地域みんなで学校応援団
 これまでのCS通信や学校運営協議会に
 関する情報はこちらへ 《訓子府町HP》⇒



CS(コミュニティ・スクール) 第3回学校運営協議会(今年度のまとめ)

今年度3回目の学校運営協議会を2月16日(木)に公民館多目的ホールで開催しました。今年度の活動の経過報告と訓子府町学校運営協議会と地域学校協働本部が文部科学大臣表彰を受賞したこと(裏面参照)が報告されました。

その後、こども園園長、小中学校・訓子府高校の校長より、今年度後期の学校評価結果とそれを受けての次年度の方向性について報告がありました。

各校の後期学校評価結果と次年度の方向性



<こども園>

- ・特別支援教育については、保護者からは「よくわからない。」「子どもは該当していない。」との意見がある。こども園に特別支援学級はないが、支援の必要な子ども全体の中で指導するインクルーシブ教育となっている。保護者へそれを伝えていくことが必要である。今後の課題として、0才児から2才児の就園が増えると見込まれる。施設や人員の確保が課題となる。

<訓子府小学校>

- ・図書館が隣接する環境を生かし読書活動を推進する。家庭学習の質の向上。ICT端末の利用は進み、低学年から情報モラルの指導が必要となる。「進んで挨拶をする」の評価が下がっている。児童会活動としても取組を進めている。運動をする子としない子の二極化、体力テストの結果から取組の再構築を図る。
- ・自由記述欄では、「地域学習の一層の充実」「特色ある教育課程の実施」などの要望が出された。来年度の学校経営の柱を「豊かな関わり」「良い授業の実践」「暖かな人間関係の構築」としたい。

<居武士小学校>

- ・「教職員一人一人の力には限界がある。居小チームで補い合って進めていく」「やれることは何でもやる。」を大切に進めてきた。ICT端末を使用する授業に積極的に取り組み、子ども達はどんどんと習得している。保護者から「訓小との相互交流の要望」が強い。さらに定期的な交流が図れるようにしたい。
- ・職員と保護者の連携を増やしたい。コロナ禍の3年間で思うように機会を持てなかった。小さな学校でも保護者同士の付き合いが少なくなった。機会を増やし気軽な交流を図りたい。

<訓子府中学校>

- ・今年度の重点目標「的確に判断して行動できる力の育成」を授業・生徒会活動・部活動など、あらゆる場面で意識させてきた。とても大切な目標と考え、次年度の継続も考えている。
- ・「生徒が安心して学校に登校できる。保護者が安心して送り出せる」学校を目指している。保護者との交流が難しかったが、必要な時は細かく連絡を取り合い、情報共有を図ることができた。

<訓子府高校>

- ・「学習面での基礎基本の徹底」「コミュニケーション能力の向上」「進路の実現」の3つを大事に進めてきた。後期は、「幼小中との交流学习」「職場訪問学習」「実証農場見学」等、地域に育てられている。「学校祭」「道外での見学学習」「スポーツフェス」などWithコロナの活動ができた。
- ・保護者評価の「訓高に進学させて良かったか。」の新しい設問に、3.4と高評価だった。生徒評価でも保護者同様「訓高に進学して良かったか。」の新しい設問に、3.2と高評価だった。

◎各委員から：全委員からご意見・ご感想を発表していただきました。文部科学大臣表彰へのお祝いの言葉や訓子府町CSの取組とふるさと教育の充実への期待の発言がいくつも出されました。また、このCS会議に、一般の保護者や地域の声をさらに取り入れていく必要性があるとの意見もありました。

訓子府スタイルのCSが文部科学大臣表彰受賞！！

訓子府スタイルのCS

(コミュニティ・スクール)とは？

訓子府町学校運営協議会（CS）は、町内のこども園、訓子府小学校、居武士小学校、訓子府中学校、訓子府高等学校で1つの学校運営協議会を設置しています。その中で、ふるさと教育「くんねっぴ学」の推進を柱として、こども園から高等学校までを見通した教育活動を学校と地域の協働で取り組んでいます。

また、ふるさと教育「くんねっぴ学」の取組が将来のまちづくりを担う人材の育成に向けて実効性のあるものとなる

よう町内企業や事業所等からCS委員を選出していること、「くんねっぴ学」を進める教職員に訓子府町についての理解を深める機会として「学校応援団・公共施設見学ツアー」を実施する等、工夫された活動を進めています。訓子府町CSのこれらの活動に対して、文部科学省から「特に効果を上げて他の模範と認められるCS活動」として表彰されました。今後も学校の応援団となるよう、活動を進めていきます！

◇ ご協力の声、お待ちしております！◇

「スクールサポーター」「学校応援団」大募集！



上の写真は、令和4年度のスクールサポーターの皆さんのご協力の様子や学校応援団の事業所での学習活動の様子です。写真左は、「子どもと雪像を作る会」の皆さんが、訓小4年生に雪像の作り方を教えている様子です。平日の午後4回の作業で雪像4基が出来上がり、さむさむまつりで披露することができました。写真中央は、居小読み聞かせクリスマスSPの様子です。通常は朝の時間を使って低学年への読み聞かせを行っていますが、年に一度の特別版としてクリスマスにちなんだ読み聞かせを全学年で行いました。写真右は、訓中2年生がシティマートくんねっぴ店で品出しを体験している様子です。今年度から始まった職場訪問学習で、学校応援団を含む町内9事業所（シティマート・菅野養蜂場・平野商店・北見農業試験場・丸建工業・訓子府郵便局・わくわく園・図書館・スポーツセンター）にご協力いただき、少人数グループでの職業体験を行うことができました。通常の見学学習だけでは味わえない貴重な体験をすることができました。

教育委員会では、「スキー学習補助」や「絵本の読み聞かせ」「農作物の栽培指導・管理」「ミシンの指導補助」「楽器の演奏指導」など、学校教育活動にご協力いただけるスクールサポーター、見学学習・体験学習にご協力いただける学校応援団（企業・事業所）を大募集しています。興味を持たれた方は、ぜひ、下記までお問い合わせください。

